

法律などで定められている予防接種の種類

対象年齢の考えかた

※対象年齢の「～歳（か月）に至るまで」「～歳未満」とは、「～歳（か月）」になる1日前までの接種を言います。誕生日当日は含みません。「出生～週～日後」とは、生まれた日の翌日を出生0週1日後として考えます。また、「出生～週～日後まで」とは、「出生～週～日後」の日を含みます。

㊤注射生ワクチン

乳幼児期に接種	種類		接種回数	対象者	標準的な接種間隔など	標準的な接種期間
	B型肝炎		3回	1歳に至るまでの間のかた	1回目の接種から27日以上の間隔を置いて2回目を接種、1回目の接種から139日(20週)以上の間隔をあけて3回目を接種	生後2か月～9か月に至るまで
ロタウイルス ※1	ロタリックス (1価)	2回	出生6週0日後から24週0日後まで	1回目の接種から27日以上の間隔を置いて2回目を接種 【ロタテックのみ】2回目の接種から27日以上の間隔を置いて3回目を接種	初回接種：生後2か月に至った日から出生14週6日後までの間 (出生15週0日後以降の初回接種については、安全性が確立されていないので推奨できません。)	
	ロタテック (5価)	3回	出生6週0日後から32週0日後まで			
ヒブ ※2	初回	3回	生後2か月～5歳に至るまでの間のかた	27日～56日までの間隔を置いて(生後12か月までに完了)	生後2か月～7か月に至るまで	
	追加	1回	※初回接種が生後7か月を過ぎた場合、接種回数が少なくなります。	初回接種終了後7か月～13か月までの間隔を置いて		
小児用肺炎球菌	初回	3回	生後2か月～5歳に至るまでの間のかた	27日以上の間隔を置いて(生後12か月までに完了)	生後2か月～7か月に至るまで	
	追加	1回	※初回接種が生後7か月を過ぎた場合、接種回数が少なくなります。	生後12か月以降、初回接種終了後60日以上の間隔を置いて	生後12か月～15か月に至るまで	
五種混合(DPT+IPV+Hib) ※2	1期	初回	生後2か月～7歳6か月に至るまでの間のかた	20日～56日までの間隔を置いて	生後2か月～7か月に至るまで	
		追加		1回	初回(3回目)接種終了後から6か月以上の間隔を置いて	初回(3回目)接種後6か月～18か月
四種混合(DPT+IPV) ※2	1期	初回	生後2か月～7歳6か月に至るまでの間のかた	20日～56日までの間隔を置いて	生後2か月～12か月	
		追加		1回	初回(3回目)接種終了後から6か月以上の間隔を置いて	初回(3回目)接種後12か月～18か月
BCG ㊤		1回	1歳に至るまでの間のかた		生後5か月～8か月	
麻しん 風しん ㊤ (MR)	1期	1回	1歳～2歳に至るまでの間のかた		1歳になったら早めに	
	2期	1回	[令和7年度対象者] 平成31年4月2日～ 令和2年4月1日生まれ		年長児になったら早めに	
水痘 ㊤	初回	1回	1歳～3歳に至るまでの間のかた		生後12か月～15か月	
	追加	1回		初回接種終了後3か月以上の間隔を置いて	初回接種終了後6か月～12か月までの間隔を置いて	
日本脳炎	1期	初回	生後6か月～7歳6か月に至るまでの間のかた	6日～28日までの間隔を置いて	3歳	
		追加		1回	初回(2回目)接種後おおむね1年を置いて	4歳

学童期に接種	種類		接種回数	対象者	標準的な接種間隔など	望ましい接種時期	
	日本脳炎		2期	1回	9歳以上13歳未満のかた		9歳
	二種混合(DT)		2期	1回	11歳以上13歳未満のかた	二種混合ワクチン(ジフテリア・破傷風)で接種	11歳
HPV (子宮頸がん予防)		2回 又は 3回	※右欄「標準的な接種間隔」を確認	小学校6年生～高校1年生相当の女子 [令和7年度対象者] ①平成21年4月2日～平成26年4月1日生まれ ②平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれ ※3	シルガード®(9価)※4 ①1回目の接種が15歳未満 1回目の接種から6か月の間隔を置いて1回接種 ②1回目の接種が15歳以上 2か月の間隔を置いて2回接種した後、1回目の接種から6か月の間隔を置いて1回接種	中学1年生の間	

法改正により接種回数などが変更される場合があります。

※1 いずれのワクチンを接種しても、同様の効果があります。原則、同一のワクチンで規定回数接種してください。

※2 【五種混合】と【四種混合・ヒブ】については、どちらか片方のみ接種可能であり、両方接種できません。

※3 接種対象となるかたは、②の年齢のうち令和4年4月1日～令和7年3月31日までに1回以上接種したかたに限ります。

※4 2価・4価ワクチンを希望する場合、詳細は市ホームページを参照ください。